



## 特別 Column



### お大師様を訪ねて (1) 本来無一物

学会役員選挙の Web 投票システムではパスワードを入力するようになっている。このパスワードは英数字で構成された重なりのないパスワードである。パスワードを生成する乱数発生器はアルゴリズムの大家として知られる早稲田大学の筧捷彦教授に作成を依頼した。

「何でまた私が」など言いながらも先生は快く引き受け、旬日のうちに Java コードを送付してきた。このコードの出来はかなり良く流石は筧先生と感動したが、実は M2 学生作品であった。学生が作ったのでは無料と言う訳にもいかず、バイト代として 10K 円支払うという、当該学生は「別件のバイトで作ったコードを流用したので要らない」とのことで、それではとのお金は筧研究室で浩然の気を養う足しにされた (と思う)。

この乱数発生器の要求仕様は曖昧さのないように (元富士通の私としては) 気を入れて書いた。筧先生はこのしっかり書かれた要求仕様と傑作 Java コードをこのままにしておくのはもったいないとのワンガリ・マータイ精神で、コードの所々を隠した穴埋め式試験問題に流用した。「お陰様で試験問題を一問考えないで済みました」とは転んでも只では起きない筧先生のお言葉である (「勿体無い (もったいない)」とは、仏教用語の「物体 (もったい)」を否定する語で物の本来あるべき姿がなくなるのを惜しみ嘆く気持ちを表している、とは Wikipedia の解説である。一方お大師様 (弘法大師のこと) の教えには「本来無一物：万物は実体ではなく空にすぎないのだから執着すべき対象は何 1 つない」というのもあり、四国歩き遍路により俄仏教徒となった私はますます混乱の極みなのである)。

さて当該学生プログラマのその後であるが、私としては当然日立や富士通等のメーカーに就職し、東証・みずほ・JR・全日空と不祥事続きの日本のソフトウェア業界に新風を吹き込んでくれることを期待したのであるが、任天堂でゲーム情報学に進むこととなった。メーカー育ちの私としては大いに嘆いた次第だが、国立大学工学部を卒業して寿司職人になった大学院生もいるとのことなので、それに比べれば情報処理に関与しているだけまーいいかと諦めの気持ちである。

湖東俊彦 (日本信頼性学会)

「べた語義」のコラムではさまざまな方に教育をテーマに自由に書いていただいています。在任中大変お世話になった、湖東前情報処理学会事務局長は、教育について一言お持ちなので、ぜひにと依頼したのですが、書かれないことが山積みのことで、検討の結果、今号から 5 回 (予定) に渡って連載コラムとして掲載させていただくこととなりました。お楽しみください。

(べた語義編集委員 久野 靖)